

研究種目： 基盤研究（C）  
 研究期間： 2007 年度～2010 年度  
 課題番号： 19520052  
 研究課題名（和文） 中世インド・ネパールの梵語仏教文献の研究  
 研究課題名（英文） A study of sanskrit buddhist literature in the medi eval  
 period of India and Nepal

## 研究代表者

岡野 潔 (OKANO KIYOSHI)

九州大学人文科学研究院

研究者番号：80221844

研究代表者の専門分野：インド仏教学

科研費の分科・細目：[分科] 哲学、[細目] インド哲学・仏教学

キーワード：仏教学

## 1. 研究計画の概要

本研究課題は4年間で次の三つのテキストの研究を並行して行うことを目的とする：

- (1) 『大いなる帰滅の物語』(略号 MSK)の研究
- (2) 『菩薩の過去世物語の如意の蔓草』(略号 BAKL)の研究
- (3) 『善説の偉大な宝珠の過去世物語の花鬘』(略号 SMRAM)の研究

## 2. 研究の進捗状況

これまでの三年間におけるこれら三つのテキストの研究の進捗・発表状況は次のとおり。

(1) MSK の研究について、19 年度には第 4 章第 2 節～第 4 節の和訳・注を行い、パリ文『ローカパンニヤッティ』の該当箇所の和訳とあわせて発表した。20 年度には第 5 章第 1 説の和訳・注を発表し、また弥勒下生経と MSK の関係を論じた論文を別に発表した。21 年度にはテキスト全体の詳細な内容梗概を英文論文として、ドイツの *Indica et Tibetica* 叢書の一冊であるパーサーディカ比丘記念論集に発表した。

(2) BAKL の研究について、19 年度には第 50 章の梵文と蔵訳のテキスト校定ならびに翻訳を発表した。また第 50 章の内容に密接にかかわる『無熱惱池偈頌』の伝承を扱った論文を別に発表した。20 年度には第 55 章と第 91 章と第 92 章の梵文と蔵訳のテキスト校定と翻訳を行い、『カルマシャタカ』の第 125 話と第 126 話の和訳研究とあわせて発表した。21 年度には 94 章と 95 章と 96 章と 97 章の梵文と蔵訳のテキスト校定と翻訳を行った。さらに別の論文として、第 50 章の内容と密接にかかわる『大乘方便経』の「十

の業の連繫」に関する研究を発表した。

(3) SMRAM の研究について、19 年度～20 年度に第 23 章と第 30 章と第 31 章の校定を行い、第 21 年度に第 23 章ヤショーミトラの校訂梵文テキストと和訳を、『アヴァダーナ・シャタカ』の第 85 章の和訳とあわせて発表した。また第 31 章の校定梵文と『アヴァダーナ・シャタカ』の第 48 章の和訳と比較研究を行った論文も完成している（第 22 年に発表予定）。

## 3. 現在までの達成度

(1) MSK の研究について、「当初の計画以上に進展している」。理由：MSK に関してこの三年間、毎年欠かさず詳しい（二万字程度の）論文を発表することが出来た。

(2) BAKL の研究について、「当初の計画以上に進展している」。理由：本研究課題に申請した時に、4 年間に 7 つほどの章の校定と翻訳を行うことを私は計画したが、3 年目でそれを達成し、すでに 8 つの章の校定と翻訳を発表することが出来た。

(3) SMRAM の研究について、「おおむね順調に進展している」。理由：世界の学界で最初の SMRAM の校定テキストを発表してきているが、『アヴァダーナ・シャタカ』との丁寧な内容の比較に研究を拡大したことにより、他の SMRAM の章の校定梵文の作業がやや遅れがちである。しかしそれは研究が拡大し綿密化した結果であり、決して停滞しているわけではない。ほぼ順調に進展していると自己評価される。

以上、全体的には「当初の計画以上に進展している」と判断される。

#### 4. 今後の研究の推進方策

研究期間は残すところ1年となったが、これまでの三年間と同様に、三つのテキストに関する研究を並行して行い、発表を行ってゆく予定である。

(1) MSK の研究について、ほぼ重要箇所のと和訳の発表を終え、未発表部分は二つのパートを残すのみとなった。最後の1年間にその一つを発表する。

(2) BAKL の研究について、最後の1年間にさらに二つの章の梵文と蔵訳の校定を行い、発表する。

(3) SMRAM の研究について、第31章の校定梵文を発表し、『アヴァダーナ・シャタカ』との比較研究を進める。

#### 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計8件)

岡野 潔、「KSemendra の DazakarmaplutyavadAna---BodhisattvAvadAna-kalpalatA 第50章の校訂と訳 --」、『南アジア古典学』2号、201-301頁。2007年7月、査読有。

岡野 潔、「弥勒下生経類と『大いなる帰滅の物語』の関係」、印度学宗教学会『論集』第34号、540-524頁 [(99)-(115)頁]。2007年12月(実際の発行は2008年10月)、査読有。

岡野 潔、「やがて世界が終わる、世界が生まれ変わる ---『大いなる帰滅の物語』第4章2節~4節読解---」、『哲学年報』67輯、1-54頁。2008年3月、査読無。

岡野 潔、「AvadAnakalpalatA 55章、91-92章と Karmazataka 125-126話 --- SarvaMdada, Zibi, Maitrakanyaka の校訂・和訳 ---」、『南アジア古典学』3号、57-155頁。2008年7月、査読有。

岡野 潔、「生きものが再びいなくなる時代 ---『大いなる帰滅の物語』第5章1節にみる正量部伝承---」、『哲学年報』68輯、1-26頁。2009年3月、査読無。

岡野 潔、「AvadAnakalpalatA 94-97章と SMRAM 23章 --- Yazomitra, VyAghrI, Hastin, Kacchapa の校訂・和訳 ---」、『南アジア古典学』4号、95-177頁。2009年7月、査読有。

岡野 潔 (Kiyoshi Okano), "A Summary of the MahAsaMvartanIkathA --- A Chronology of the Universe According to the SAMmitIyas", in: PAsAdikadAnaM. Festschrift fuer Bhikkhu PAsAdika. Indica et Tibetica 52.

Herausgegeben von Martin Straube, Roland Steiner, Jayandra Soni, Michael Hahn und Mitsuyo Demoto. Marburg. S. 323-342. 2009年8月、査読無。

岡野 潔、「釈尊が前世で犯した殺人 --- 大乘方便経によるその解釈」、『哲学年報』69輯、139-175頁。2010年3月、査読無。

[学会発表] (計1件)

岡野 潔、「業繫の生死観からの解放 --- 仏陀の業報譚をめぐる部派仏教・大乘における攻防」、2009年度日本佛教学会学術大会(立正大学)2009年9月17日

[その他]

研究者情報ホームページ

<http://hvoka.ofc.kyushu-u.ac.jp/search/details/K000052/research.html>

論文のPDFを公開しているリポジトリ

<https://qir.kyushu-u.ac.jp/dspace/>